

申込書

令和4年度「福祉のお仕事魅力発見セミナー」

FAX:054-272-8831 <http://shizuoka-wel.jp/job/attractive/>

WEBフォームからも申し込み可能です。福祉のお仕事魅力発見セミナー 検索



注意事項

- ①開催希望日が決定している場合、講師日程調整の都合上、できるだけ早期にお申込みください。
(開催希望時期が集中しやすいので、遅くとも1か月前までの申込みをお願いします。)
- ②FAX送信後、申込書到着確認のため、静岡県社会福祉人材センター054-271-2110までお電話ください。
併せて、お申込み内容の確認・ヒヤリングをさせていただきます。

| | | | | | | |
|----------|------------|--|--|--|--|--|
| 学校名 | 中学校 ・ 高等学校 | | | | | |
| 住所 | 〒 ー | | | | | |
| 電話番号 | TEL | | | | | |
| FAX番号 | FAX | | | | | |
| Eメールアドレス | | | | | | |
| 御担当者様 | | | | | | |

| | 第1希望 | | | 第2希望 | | |
|--------|------|----|-------|------|----|-------|
| 実施希望月日 | 年 | 月 | 日() | 年 | 月 | 日() |
| 実施希望時間 | : | ~ | : | : | ~ | : |
| 参加予定学年 | 年 | | | 年 | | |
| 参加予定人数 | 人 | | | 人 | | |
| 開催単位 | クラス | 学年 | クラス合同 | クラス | 学年 | クラス合同 |
| 開催予定場所 | | | | | | |

| | |
|---------------------|--|
| 申込みの理由 (セミナー目的) | |
| これまでの福祉 への取り組み状況 | |
| セミナーへの 要望 | |

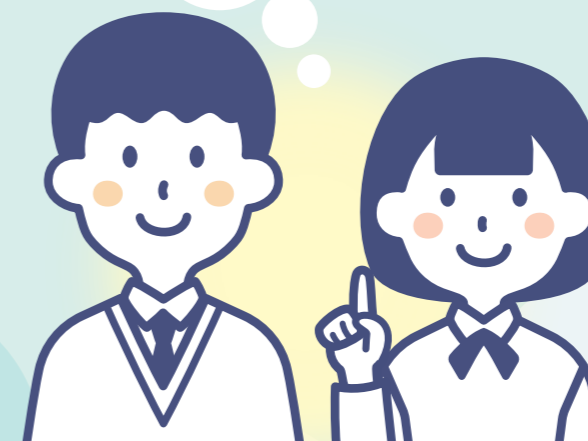
参加校募集!



福祉のお仕事 魅力発見セミナー

中学生・高校生

キャリア教育の一環として、
静岡県内の中高生が
福祉の仕事に興味や
関心を持ち理解を深め、
その魅力ややりがい
を感じていただくための
無料の出前講座です。



社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会 静岡県社会福祉人材センター

平成24年度より静岡県からの委託で実施している無料の**出前講座**です。

キャリア教育の一環として、働く意義や働く人々の様々な思いを理解し、進路や職業選択の一助となるようお役立てください。



対象者 静岡県内中学生・高校生

開催時期 令和4年4月7日～令和5年2月28日まで ※随時受付

開催単位 クラス単位、クラス合同、学年単位等、ご要望に応じます。

プログラム(例) ①講師の講義(50分) **オンライン開催も可能。ご相談ください。**

社会福祉士や介護福祉士、施設長、福祉人材養成校の教員などが講師として、セミナーの目的に応じた講義をします。「福祉とは」「福祉の仕事の種類や資格、職業体験時の注意事項、福祉の仕事の魅力ややりがい、就職や進路選択への助言」など、分かりやすくお話しします。

②講師の講義(35分)+福祉の現場で働く先輩の話(15分)

プログラム①の講師の講義に加え、地元の福祉施設で働いている方が先輩の話として「福祉の現場で働く魅力」などをお話しします。

申込方法 裏面の申込書をファックス送信(FAX:054-272-8831)または、静岡県社会福祉協議会HPの申込みフォームからお申し込みください。

HPは

問合せ先 静岡県社会福祉人材センター TEL:054-271-2110
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70

社会福祉人材センターとは?

社会福祉法に基づき、福祉人材確保のために静岡県知事の指定を受けて静岡県社会福祉協議会に設置されている公的な機関です。保育士・保育所支援センターも併設しています。

- 就職相談
- 就職あっせん
- 職業紹介
- 求人情報の提供
- 保育士・保育所支援センター事業 など



生徒・保護者向け「福祉のしごと学び体験ツアー」

県内の中高生・保護者・教員を対象に、福祉施設の見学・福祉体験会を夏休みに開催!

体感! 実感! 福祉の職場体験

福祉の仕事に興味がある生徒さん、近隣の福祉施設で職場体験をしてみませんか?参加費無料。ボランティア保険の加入から事業所との連絡調整まで人材センターが行います。

●お申込・お問合せは 静岡県社会福祉人材センターまで TEL:054-271-2110



令和3年度「福祉のお仕事魅力発見セミナー」実施校

中学校

| No. | 実施日 | 市町 | 学校名 | 対象学年 |
|-----|--------|------|----------------|---------|
| 1 | 5月18日 | 静岡市 | 静岡市立長田南中学校 | 2 |
| 2 | 5月28日 | 磐田市 | 磐田市立向陽中学校 | 3 |
| 3 | 6月14日 | 静岡市 | 静岡県立清水南高等学校中等部 | 3 |
| 4 | 6月16日 | 下田市 | 下田市立稲穂中学校 | 2 |
| 5 | 6月18日 | 東伊豆町 | 東伊豆町立熱川中学校 | 3 |
| 6 | 6月24日 | 磐田市 | 磐田市立神明中学校 | 3 |
| 7 | 6月24日 | 伊東市 | 伊東市立北中学校 | 2 |
| 8 | 6月24日 | 湖西市 | 湖西市立白須賀中学校 | 1 |
| 9 | 7月1日 | 静岡市 | 静岡市立中島中学校 | 交遊学年1~3 |
| 10 | 7月6日 | 沼津市 | 沼津市立静浦小中一貫学校 | 2 |
| 11 | 7月6日 | 静岡市 | 静岡英和女学院高等学校 | 2 |
| 12 | 7月8日 | 浜松市 | 浜松市立光が丘中学校 | 2 |
| 13 | 7月13日 | 湖西市 | 湖西市立新居中学校 | 1 |
| 14 | 7月19日 | 浜松市 | 浜松市立三方原中学校 | 3 |
| 15 | 10月6日 | 森町 | 森町立旭ヶ丘中学校 | 1 |
| 16 | 10月21日 | 菊川市 | 菊川市立岳洋中学校 | 1 |
| 17 | 10月21日 | 沼津市 | 沼津市立今沢中学校 | 3 |
| 18 | 10月27日 | 南伊豆町 | 南伊豆町立南伊豆東中学校 | 3 |
| 19 | 11月2日 | 静岡市 | 静岡市立服織中学校 | 1 |
| 20 | 11月12日 | 沼津市 | 沼津市立第一中学校 | 3 |
| 21 | 11月12日 | 藤枝市 | 藤枝学園 藤枝明誠中学校 | 1~3 |
| 22 | 11月19日 | 沼津市 | 沼津市立浮島中学校 | 1~3 |
| 23 | 11月26日 | 浜松市 | 浜松市立八幡中学校 | 1 |
| 24 | 11月26日 | 沼津市 | 沼津市立高等学校中等部 | 2 |
| 25 | 2月2日 | 静岡市 | 静岡市立清水第五中学校 | 2 |
| 26 | 2月14日 | 島田市 | 島田市立島田第二中学校 | 1 |
| 27 | 3月3日 | 御殿場市 | 御殿場市立西中学校 | 1 |

高校

| No. | 実施日 | 市町 | 学校名 | 対象学年 |
|-----|-----------------|------|------------------|------|
| 1 | 6月3日 | 磐田市 | 静岡県立磐田南高等学校 定時制 | 2 |
| 2 | 6月3日 | 静岡市 | 静岡情報高等専修学校 | 2.3 |
| 3 | 6月4日 | 静岡市 | 静岡市立高等学校 定時制 | 4 |
| 4 | 6月11日 | 静岡市 | 静岡県立静岡農業高等学校 | 2 |
| 5 | 6月17日 | 浜松市 | 鹿島学園高等学校 浜松キャンパス | 1 |
| 6 | 6月23日 | 浜松市 | 静岡県立天竜高等学校 春野校舎 | 1 |
| 7 | 6月23日 | 御殿場市 | 御殿場西高等学校 | 1~3 |
| 8 | 7月2日 | 静岡市 | 静岡県立清水東高等学校 定時制 | 2.3 |
| 9 | 7月6日 | 静岡市 | 静岡英和女学院高等学校 | 2 |
| 10 | 7月16日 | 浜松市 | 静岡県立浜名高等学校 定時制 | 2.3 |
| 11 | 7月16日 11月22日 | 函南町 | 静岡県立田方農業高等学校 | 2 |
| 12 | 7月26日 10月25日 | 焼津市 | 静岡県立清流館高等学校 | 2 |
| 13 | 9月27日 | 静岡市 | 静岡県立駿河総合高等学校 | 2 |
| 14 | 10月21日 | 静岡市 | 静岡女子高等学校 | 1 |
| 15 | 10月22日 | 裾野市 | 静岡県立裾野高等学校 | 2 |
| 16 | 11月22日 | 静岡市 | キラリ高等学校 | 1 |
| 17 | 12月2日 | 富士宮市 | 静岡県立富士宮東高等学校 定時制 | 2 |
| 18 | 2月3日 | 袋井市 | 静岡県立袋井高等学校 | 1.2 |
| 19 | 2月7日 | 函南町 | 未来を創る学舎 中京高校 函南校 | 1~3 |



セミナーを受講した感想 (アンケート結果より)

福祉の仕事内容だけでなく、楽しさについても聞くことができ良かったです。人の笑顔がたくさん見れる仕事はすごくいいなと思いました。コンピューターにはまねできない人のやさしさが見れた気がします。(中学校1年生)

生徒

将来の選択肢の一つとして考えることができたので良かったです。自分の決めた道を迷わずに歩んでいきたいと思いました。(高等学校2年生)

福祉は誰でも関わると知ることができました。困っている人を皆で助けたい社会になるように、まずは自分からどうすればいいのか考えてみたいと思いました。(中学校1年生)



福祉、介護の仕事に対してプロ意識を持つことは、自分らしく生きる上での自信や力強さを持つことになると思うので、ぜひ今後も出会う生徒たちに伝えてください。(中学校教員)

先生

福祉が特別なものでなく、自分たちも含むみんなのものということが、生徒に自然と入っていました。(高校教員)

